

横田基地へのC V 2 2 オスプレイの配備検討の撤回に関する意見書（案）

平成25年7月30日、米空軍仕様の垂直離着陸輸送機C V 2 2 オスプレイの日本での配備先について、沖縄の嘉手納基地とともに横田基地が有力であるという米太平洋空軍カーライル司令官の発言が一斉に報道された。また、平成26年の初めに配備先を決定し、平成27年に配備する意向で、日米政府が協議中だとも報じている。

こうした動きに対して、基地周辺の5市1町で構成する「横田基地周辺市町基地対策連絡会」を始め、青梅市長、あきる野市長は、直ちに外務大臣と防衛大臣に横田基地への配備検討の撤回を求める要請を行っている。また、八王子市、青梅市、武蔵村山市、羽村市及び瑞穂町の議会では、配備検討の撤回を求める意見書が採択されている。

横田基地周辺の5市1町は51万人が暮らし、横田基地が関わる首都圏は日本の人口の3分の1が居住する住宅密集地域である。この首都圏にまたがる「横田空域」を米軍が占有して、日常的に夜間飛行、低空飛行、降下訓練などを行っている。

この横田基地に、最近も墜落事故を起こすなど事故率が異常に高く、危険な特殊作戦を担っているC V 2 2 オスプレイが配備され、訓練が行われることになると、東京を始めとする首都圏の住民の生命と生活の安全を脅かすものとなることは明らかである。

よって、東京都議会は、国会及び政府に対し、横田基地へのC V 2 2 オスプレイの配備検討を撤回するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。